

学区・地区防災（避難）計画 更新のお願い

1. 概 要

災害時に地域住民同士がお互いを助け合う「共助」は、命を守るためにとても重要です。自治体や公的機関による支援「公助」だけでは限界があるため、日ごろから地域での助け合いの意識を持ち、災害時に協力し合う体制を築くことが必要です。

各学区・地区では、学区・地区防災（避難）計画を作成いただいているところですが、作成から数年経過しますので、近年の状況等を反映した学区・地区防災（避難）計画の更新をお願いします。

なお、津波浸水想定区域内の学区・地区は2023～2024年度で更新済みです。

2. 更新手順

計画は、地域の特性や予想される被害や避難先等を地域で話し合い、計画に反映することが重要となります。

策定に当たっては、危機管理防災課も協力させていただきますので、地域の被害を軽減するためにも実践的な計画への更新をお願いします。

3. 更新目標

2023～2024年度に更新していない区域（38か所）について、2か年に分けて計画を更新することを目標として、危機管理防災課が各自主防災組織と一緒に更新します。

●2025～2026年度中に策定（目標） ※順次声かけをさせていただきます。

泉、千田、御幸、津之郷、赤坂、瀬戸、熊野、坪生、本郷、東村、伊勢丘、旭丘、有磨、福相、山野、広瀬、加茂、駅家、宜山、駅家西、服部、駅家東、幕山、久松台、山手、大谷台、明王台、戸手、新市、常金丸、網引、山南、神辺、御野、竹尋、湯田、中条、道上